



感染対策と楽しい保育

先日、年少組（3歳児）がくまのみらい保育園まで遠足に行ってきました。進級してから春の親子遠足はコロナ禍の中で中止となっていたので、年少組の子どもたちにとっては、初めての遠足でした。いつもは保護者の方に持ってもらうこともあるリュックサックもちゃんと背負い、わくわくしている様子がとても可愛かったです。出発前も先生の話の背中をまっすぐにして静かに聞き、準備もばっちり。園バスに乗り、窓から見える景色に喜んだり、初めて自分でシートを敷いたり、みんなと一緒に弁当を食べたりということを青空の下で思いきり楽しみました。やっぱり、「楽しいこと」があるから、いろいろなことが頑張れるようです。大喜びの顔を見ながら、楽しい行事の経験は大切だと感じました。

今後も大きな行事を計画しています。広島でもコロナ感染が広がっており、先月は理事長より“冬季コロナウイルス感染症急増対策及び今後の保育について”という手紙が出ました。園では、園の中に感染者がいないということを前提に、「人生で一番成長が著しい子どもたちにとっての今は、今しかない」との思いから、感染対策を行いながら、できるだけ通常に近い保育をしています。今月予定しているおもちつきは、マスク着用と手洗いなどに気をつけて行います。良き新年を迎えられるようにと願いを込めながら、みんなが元気よく「よいしょよいしょ」と掛け声をかけてお餅をついたり、ほっかほかのつきたてのお餅を丸めたりという経験をします。白い湯気が立ち上る様子やもち米が蒸しあがる匂い、つきたてのお餅を手にしたときのあったかさなどはきっと、子どもたちの心に残るに違いありません。また、来年1月にはにじぐみさんの生活発表会を計画しています。昨年まで保護者の方々には、全学年の演技を見て頂き、異年齢での関わりの様子や学年ごとの成長などを感じていただく機会としていましたが、今年度はやむをえず、密を防ぐために、年齢ごとのプログラムとし、入れ替え制とさせていただきます。会場が大

変狭いため観覧は同居のご家族に制限させていただくこととなりますが、ご協力ください。

これから、子どもたちが楽しみにしている生活発表会に向けて、お話の世界のイメージをふくらませたり、一緒に歌ったり、合奏する楽しさを高める活動に入ります。今までに経験したことや、身近なできごとなど、子どもたちの関心のあるものを取り上げ、子どもたちの意見を聞きながら、主体性や、やる気を育てていきたいと思ひます。子どもたちにとっては、頑張っている姿をお家の人に見て頂き、しっかり誉めてもらって自信をつける機会となります。お家に帰ってもいろいろなお話をしてくれたり、「こうやって踊るんよ。」などと、やって見せてくれたりするでしょう。楽しみにしているよと話していただき、子どもたちの成長の機会にしていきたいと思ひています。

まだまだ収束の見通しが立たない大変な状況が続きますが、子どもたちの日々の保育において、何でも中止するのではなく、今の状況の中で子どものためにできることを考えていきます。「子どもの育ちのためにすべきこと」「感染対策のためにすべきこと」をしっかりと精査した上で進めてまいります。何かご意見などありましたら遠慮なくお聞かせください。

保護者の皆様には、マスクの着用、手指消毒、検温のご協力に加えて、最近では、県をまたぐ出張の報告などもしていただき感謝しています。発熱する子どもたちも出てきていますが、必ず病院を受診して頂きますよう、また、熱が高かった翌日は用心して頂きますと助かります。

早いもので、令和2年もあと1か月で終わります。コロナウイルスに不安が続いた一年でしたが、来年は笑顔で安心して過ごせる年になりますように。

少し早いですが、みなさま良いお年をお迎えください。

年末の保育は29日まで、新年は1月5日から保育開始となります。

園長

ぽかぽかドキュメンテーション 12月

「憧れの気持ちが育むものと学びについて」

乳児園と幼稚園の園舎は離れていますが、今年は特にコロナ感染の状況を常に配慮しながらお互いの園を行き来し、一緒に遊び、群れの中での育つものを大切に過ごしています。

11月中旬は、とても気候がよく公園に行くたびに幼児さんに遊んでもらった乳児園の子どもたち。自然に追いかけっこをしたり地面に絵をかくたり、草むらや木の下で宝物探しを始めたりと、あっという間に打ち解けて遊ぶ姿は、ほんとうに素敵です。

公園のあちらこちらでは、様々なグループができ、その中の一つのグループと一緒に長縄を使って遊び始めました。2歳児と5歳児という異年齢のあそびの中にどのような学びがかくされているのでしょうか…。

ある日の公園にて

らいおん組さんは…

しろ組さんは…

優しいお姉ちゃんのおかげで跳んでみようとしています。

小さい子が跳びやすいように小さくなって縄を動かしています。相手の立場に立って考える力が育っています。

今度は白組さんがお手本

周りの子どもたちも興味津々で集まってきました。

真剣なまなざしで、白組さんの姿を見つめるらいおん組さん

白組さんが跳ぶ時には、立ち上がり、縄を動かしています。調節する力や相手に合わせる力がついています。

かっこいい～という憧れの気持ちが、自分もあんな風にやってみたいという意欲に繋がっています。

小さい子にもわかるように丁寧にゆっくりと跳んでみせます。伝える・説明する力が育っています。

年齢は違っていてもお互いが刺激となり、一つのあそびが盛り上がる瞬間は、側で見守っている大人も思わず引き込まれます。些細な出来事や子どもの姿の中にはたくさんのストーリーや学びがあり、どんな学びにもその基本には、何だろうと心が動くことや人が好き！という気持ちがあるのだと思ひています。乳幼児期における他者への興味関心や信頼感は、まずは身近な大人からたっぷり可愛がられて育まれるといわれています。子どもの学びを伸ばすための大人の在り様を、かわいいエピソードを通して考えさせられています。

乳児園主任